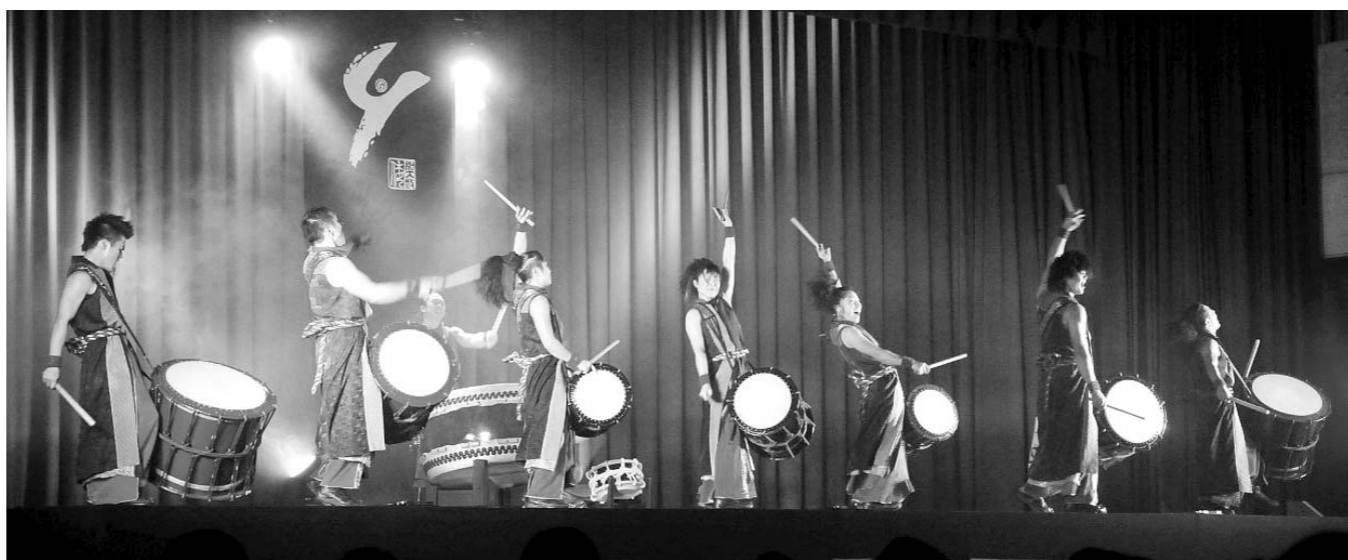


月刊 新翔タイムズ

第77号 新翔タイムズ 編集室 発行・熊野新聞社

芸能鑑賞 和太鼓集団「倭-YAMATO」

圧倒的なパフォーマンスに酔う



本年度の芸能鑑賞は奈良県明日香村に拠点を置く和太鼓集団「YAMATO」を招き、12月5日(金)午後1時より本校体育館で行われた。芸能鑑賞は3年に1回、生徒・保護者を対象に行っているもので、本物のプロの演目を生で体感してもらうという趣旨で続けている。

「YAMATO」は世界53カ国で3000回の公演実績を持ち、年間200回もの公演を展開している。演奏に使用される太鼓の名前や、使われている素材についての紹介から始まり、どのようにして太鼓のリズムや曲を覚えるのかを、その後生徒全員がその方法を体験した。和太鼓と津軽三味線の競演、太鼓でのバトル、太鼓を担いで動きながらたたくなど、ダイナミックで実に変化に富むプログラムだった。太鼓体験教室も行わ



アドバイスに耳傾ける

2年生総合的な学習の時間「先輩が先生」



12月15日(月)6限、2年生総合的な学習の時間に、3年生による進路講話が行われた。「先輩が先生」と題して、進路実現を果たした3年生5人(3年1組・鈴木一也君「トヨタ自動車」、3年1組・上地葵さん「なぎさ看護学校」、3年2組・阪本真「富士岐工業」、3年4組・梶原華さん「紀陽銀行」、3年5組・瀧谷澪花さん「大阪女子短期大学」)が進路選択から進路実現までの取り組みや2年生へのアドバイスを丁寧な語り口で話した。

地域文化系列



12月10日(水)に地域文化系列2・3年生22人が世界遺産について現地学習を行った。本年度7回目になる取り組みであるが、午前中は和歌山県世界遺産センター(田辺市本宮町)で、大瀧新先生から「紀伊山地の霊場と参詣道」の歴史や文化について基礎的な講義をしていただいた。午後からは熊野本宮大社までの古道を歩きながら土入(道普請)を実施した。3年生は昨年度も参加しており、自分たちが道普請を行った場所を歩くと「去年道普請したところだ」と喜びの声を上げていた。今後も地域に密着した取組に参加していきたい。

「誘惑に負けず、だまされなさい！」

1年生対象に薬物乱用防止講座

12月16日(火)、大阪府を強く訴えた。特に最近、危険ドラッグに暴走して死傷事故を起こしたり、凶器で殺人を犯すなど、凶悪な事件が多々見られるようになった。講座ではまず、薬物を不正な目的や方法で1度でも使用すると犯罪になること、身体や精神を破壊し、家庭や学校及び社会生活を崩壊させてしま



12月16日(火)、大阪府を強く訴えた。特に最近、危険ドラッグに暴走して死傷事故を起こしたり、凶器で殺人を犯すなど、凶悪な事件が多々見られるようになった。講座ではまず、薬物を不正な目的や方法で1度でも使用すると犯罪になること、身体や精神を破壊し、家庭や学校及び社会生活を崩壊させてしま

れは法律で規制されていないから大丈夫」とか、薬物の名前をハブアやロマに変えたりしながら、巧妙に忍び寄ってくる。時には、職場の元僚や学生時代の先輩や後輩が密売人となり近づき、信頼して騙(だま)された事例、「1回だけなら大丈夫」と勧められ、断れずに手を出してしまっただけで、やせたり、きれいな肌になる薬がある、「気分がスカッとするぞ」などの言葉に騙され、感に負けて騙されないようにしたい。しっかりと自分だけの知識をもつこと、自分だけが大丈夫と過信しないこと、「近づかない。その場から逃げろ。大人や専門機関への相談が大切である。後半では薬物を国内に持ち込ませなかったための税関の仕事とその成果が紹介される。また、「騙されて運ぶ屋になる事例」が報告された。「旅費や滞在費を負担するから一緒に海外旅行に行こう」と誘われて運ぶだけの高額アルバイトがある。「海外からの郵便物の受取人になってほしい」、巧みな真似と悲惨な末路が動画で流された。



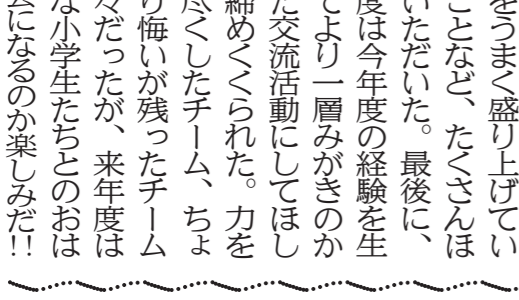
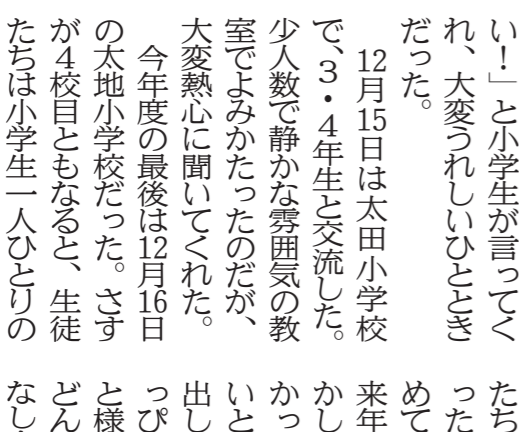
「また来年も来てくださーい！」 ボランティア交流活動記

継続して行っているこの事業も今年度で11年目。昨年度に引き続き3輪崎・宇久井、太地の3小学校に今年度は太田小学校が加わり、4小学校で交流活動へ行き、1年生と2年生の

計6クラスと交流した。ボランティアの生徒は、今年度初ということで、さすがに緊張していたが、2回目は自分たちのペースを取り戻してよみかたることができた。8月の養成講座で指導していただいた山田先生が見守り下さり、交流活動後に講評して下さった。落ち着いて下さり、余裕があったこと、位置などの課題も少し指摘

12月12日は宇久井小学校を訪問。1・2年生と交流した。9日のプログラムを修正して臨んだチームもあった。この日は山田先生と伊藤松枝先生が見守り下さった。2校目ということもあり、余裕をもってやれた。「また来年も来てくださーい！」と小学生が言うたびに、大変うれしひとときだった。

12月15日は太田小学校で、3・4年生と交流した。少人数で静かな雰囲気のある教室でよみかたされたのだが、大変熱心に聞かれた。今年度の最後は12月16日の太田小学校だった。さすが4校目ともなると、生徒たちは小学生一人ひとりの顔をみながら、またやりとりをしながらよみかたしたりするとうずいぶんと余裕の感じられる交流活動になった。終了後に山田、伊藤両先生から今年度のまとめのお話があり、回を重ねるごとに落ち着いて度胸がついていったこと、小学生とのやりとりが自然で小学生たちをうまく盛り上げていったことなど、たくさん褒めていただいた。最後に、来年度は今年度の経験を生かしてより一層よみかたの活動に力を出し尽くすことを、先輩と後輩が残りチームと励みあっていた。来年度はどんな小学生たちのおはなしになるのか楽しみだ!!



世界遺産の存在意義学ぶ 新宮ユネスコ協会が講演会

12月9日(火)、1年生はユネスコの活動などについての講演会を開催し、新宮ユネスコ協会の中谷会長と西田副会長のお二人の講師の方からのお話を伺った。中谷会長はユネスコの理念や誕生した背景、世界遺産の存在意義などについて話され、「平和とは積極的に作り出さなければいけないもの。皆さんは教育を通じて平和や命について学んでほしい」と力強いメッセージを送った。続いて西田副会長が今年で世界遺産登録10周年を迎えた「紀伊山地の霊場と参詣道」についてスライドを使って詳しく解説され、専門的な見地からその希少性や価値についてお話を聞かせて下さった。生徒達は「ユネスコについてもっと知識を広げたい。」「平和について積極的に学んでいくべき。」「谷川俊太郎さんの詩がとてもしばしばあった。」「当地方に住む本校生徒にとってたいへん貴重な経験になった。」

